

審判員派遣報告書

派遣事業名	第40回全関西中学バスケ交歓大会	派遣期日	令和4年12月27日～12月28日
報告者	和田 裕貴	派遣先	広島県広島市

1 大会概要

大会名称	第40回全関西中学バスケ交歓大会	大会期間	令和4年12月27日～12月29日
大会概要	男女各30チームによる予選リーグを行い、上位4チームによる決勝リーグ、各順位による交流戦を行う。		

2 担当試合 ※（試合内容は簡潔に書いてください）

日程	令和4年12月27日	会場	広島県立総合体育館
審判クルー	CC:中村 隼規	U1:和田 裕貴	U2:
担当試合	古田 Kings (広島) VS 昭栄 (佐賀)		
試合内容	昭栄が前半からリードし古田が追う展開が3Qまで続く。4Qに昭栄の3Pが連続で決まりリードを広げそのまま逃げ切って40対64で昭栄が勝利した。		

日程	令和4年12月27日	会場	広島県立総合体育館
審判クルー	CC:市川 雄介	U1:和田 裕貴	U2:
担当試合	高津 (島根) VS 丸亀西 (香川)		
試合内容	丸亀西がリードするも高津が要所要所でスティールからの速攻で追いつく攻防が終盤まで続く。ただ高津が逆転するまでには至らず48対56で丸亀西が勝利。		

日程	令和4年12月28日	会場	広島県立総合体育館
審判クルー	CC:和田 裕貴	U1:大中 亮平	U2:
担当試合	打出 (滋賀) VS super waves (鳥取)		
試合内容	前半は互角の戦い。後半に入るとsuper wavesのDF強度が上がり、打出の得点が止まる。その間にsuper wavesが速攻とパス回しからの3Pが決まり出し点差が開く。そのまま41対72でsuper wavesが勝利。		

日程	令和4年12月28日	会場	広島県立総合体育館
審判クルー	CC:草野 伸明	U1:和田 裕貴	U2:武井 宏仁
担当試合	倉敷南 (岡山) VS RIZINGS 徳島 (徳島)		

試合内容	前半、倉敷南が個人技やそこからの合わせで得点。更にオールコート DF で点差を広げる。3Q には徳島も DF からの速攻で連続得点し点差を縮めるも4Q に倉敷南が再度個人技からの得点で引き離し67対46で倉敷南が勝利した。
------	---

3 大会（研修会）を通して 《 学んだこと 感じたこと 県内審判に伝えたいこと 等 》

▶全関西中学研修会より（T級インストラクター 神田亮一氏）

ゲームを円滑に正しく進めるためにテンポセットの重要性。そもそもテンポセットは「ダメなものを伝えること」。理解が弱いとマージナルなプレイに笛が入ってしまう。

ゲームの流れの把握をする事。

【mindset to call】どちらとも取れるコンタクトに対して「コールしない理由を探す」のではなく、「コールする理由を探す」意識

ファールについて

POCの把握が大前提。確証がなければ笛は吹けない→確認できたものを吹く→確証は「アングル」のみが支えてくれる。→アングルを取るためにポジションアジャスト

メカニクスについて

トランジションにおいて「ポジションからポジションへ走る」という意識を変えること。次のプレイを予測することでどのように視野を当てるかが決まる。※トレイルが後方からコールすることはないはず。

IOTについて

エリアとアングルの理解が第一。プライマリーを自覚できていないとセカンダリーもない。

▶研修会映像資料より

- ・プレイを予測し、半歩の動きを大切に。シュート時。3or2。
- ・スクリーンの後にはシュートがあるという意識をもつ。アングルの確保。
- ・Cポジション時、フリースローラインよりも上のプレイはローセンターだが、敢えてハイセンターから見ることによってアングルが確保できることもある。「逆に動く勇気！」

▶担当したゲームの反省点

- ・リード時のローテーションをもっと軽くする。→ローテーションを軽くから重くは出来る。逆はむずかしい。
- ・会場によっては「クロックが見にくい」「ブザー音が聞こえにくい」といったイレギュラーもある。それをクルーの中で認識し積極的にコミュニケーションをとっていきたい。

▶IRより

マジックタイムの意識をもっと持てると良い。クロックが止まった時に引き算をする習慣を。

【感じたこと】

西日本各地や東京からも審判員が来られていました。また20代前半の審判員も多く将来上級審判を目指している方や、Bリーグの審判を目標にしている方もおられモチベーションの高さを感じました。

他県のS級審判やウィンターカップ、Bリーグでもレフェリーをされている方とクルーを組むことが出来、ゲーム進行のスムーズさ、動きの無駄の無さに圧倒されましたがその中でも自分が今できることを行った二日間だったと思います。

4 その他

今回の全関西は審判として活動し初めて初めての県外活動で、全く初対面の方と審判をするという体験が出来たことは貴重な体験となりました。全中研修生として少ない時間を今回学んだことのうち一つでも現場で生かしていきたいです。